

町内全小中学生へタブレットを配布

小中学生が1人1台パソコン端末を使う「GIGAスクール構想」に対応しようと、タブレット端末のリース契約を民間企業と結び、町内すべての小中学生へ1,024台、教員用へ140台の端末を配布しました。全生徒にタブレット端末が配付されるのは全国でも実例が少なく、九州では初となります。

このことを記念し、整備完了記念セレモニーが行われました。セレモニーでは、児童や生徒がそれぞれの学校の特色や観光名所をタブレット端末を通して町内の小中学校や役場などへ中継し、地域の魅力について紹介しました。テレビ電話でセレモニーに参加していた永野町長は「タブレットをうまく活用し、大きな夢をもって勉強に励んでください。」と生徒たちにメッセージを送りました。

現在は、授業での調べ学習や発表、校外での授業でタブレット端末が活用されており、今後は在宅学習への活用も検討されています。

※「GIGAスクール構想」…ITやICT技術によって子供たち一人一人に合わせた教育を行えるようにすることを目的とした文部科学省が推進する取組み



- ①波野中(セレモニーの様子) ②役場から参加する町長 ③高山小(大隅青少年自然の家) ④高山中(鉄道記念公園)
 ⑤国見小中(川上中学校) ⑥波野小中(塚崎古墳群) ⑦宮富小(笠之原) ⑧・⑨内之浦小(宇宙空間観測所)
 ⑩・⑪岸良小中(校舎&岸良海岸)